

大分県外国人総合相談センター おおいた国際交流プラザ



令和6年度「災害時外国人支援セミナー」開催



1月25日に県立美術館研修室において「災害時外国人支援セミナー」(大分県委託事業)を開催しました。今回のセミナーは地域での防災や外国人支援に関心がある防災士、通訳/翻訳/日本語ボランティアなど40名の方に参加していただきました。

冒頭、県国際政策課田吹課長より、南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど大規模災害への不安は年々高まっている中、外国人住民や外国人観光客の安全・安心を守るためには、災害発生時に正確な情報を伝

え、的確な行動を促すことが大切である旨の挨拶がありました。

今回のセミナーは、佐賀県国際交流協会企画交流課長の矢富明德さんに「災害時の外国人対応と役立つコミュニケーションツール」をテーマに講演していただきました。矢富さんは長きにわたり多文化共生の推進に取り組み、2016年の熊本地震、2019、2020年の佐賀豪雨災害において外国人被災者の支援に尽力されました。

講演では、災害時に外国人が直面する課題、熊本地震の対応事例や佐賀県災害多言語支援センター、佐賀県災害ガイドブックなどについて写真や動画等を用いて話していただきました。

グループワークでは、避難所で使われている日本語をやさしい日本語で表現する練習をしました。また、スマートフォンを使って災害時の外国人支援に役に立つツール(ボイストラ、google翻訳等)の操作方法等も確認しました。

セミナー終了後のアンケートでは、「海外から来ている人達への助けとなれるツール、考え方を学ぶことができた」「外国人も支援者にという話が印象的でした」「外国人視点で考えることができた」などの意見があり、高評価をいただきました。



information

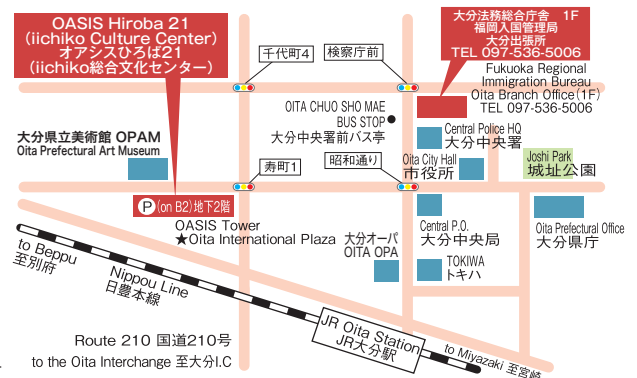
〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階
 TEL 097-529-7119 (相談センター)
 TEL 097-533-4021 (国際交流プラザ)
 FAX 097-533-4052 (相談センター・国際交流プラザ)
 URL: <https://www.oitaplaza.jp/> (相談センター・国際交流プラザ)
 E-mail: oisc@emo.or.jp (相談センター)
 E-mail: in@emo.or.jp (国際交流プラザ)

時間 月～土 (相談センター・国際交流プラザ)

10:00～17:00 (相談センター)

9:30～18:00 (国際交流プラザ)

※日曜、祝日、iichiko総合文化センター休館日および年末年始はお休みです



令和6年度

「日本語おしゃべり会」開催

2月2日に「日本語おしゃべり会」（大分県委託事業）を大分市内で開催しました。県内の日本語教室5教室から10か国19名（大分市5名、中津市5名、佐伯市3名、豊後高田市6名）の外国人学習者が発表し、教室の指導者や関係者を含め66名が参加しました。

冒頭、主催者を代表し県国際政策課の田吹課長が挨拶を行い、「皆さんが日本や大分に来て驚いたこと、気づいたこと、嬉しかったこと、辛かったこと、たくさんの出来事があったと思います。また、これからこんな風になりたい、こんなことをやってみたい、という気持ちもあると思います。今日はそんな皆さんの気持ちや思いを、私たちにゆっくり丁寧に伝えてください。私たちもしっかりと聞かせていただきます」と発表者にエールを送りました。

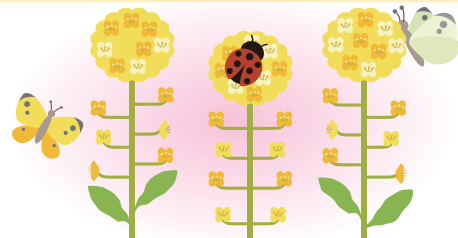
発表は各人3分間で、故郷の文化紹介や日本語教室の先生たちへの感謝の気持ち、日頃の学習についてなど熱くスピーチしました。インドネシアのバティック柄のシャツやミャンマーのロンジーなど、母国の伝統的な衣装を着て登場する発表者もいて、会の盛り上げにひと役買ってくれました。また各教室の指導者には、発表者の人柄や日頃の指導で気をつけている点などについて紹介していただきました。

発表は各人3分間で、故郷の文化紹介や日本語教室の先生たちへの感謝の気持ち、日頃の学習についてなど熱くスピーチしました。インドネシアのバティック柄のシャツやミャンマーのロンジーなど、母国の伝統的な衣装を着て登場する発表者もいて、会の盛り上げにひと役買ってくれました。また各教室の指導者には、発表者の人柄や日頃の指導で気をつけている点などについて紹介していただきました。

最後の総括指導では、県地域日本語教育コーディネーターの立命館アジア太平洋大学の本田教授から、「皆さんのスピーチの中には、いつも自分とその社会との関係とか、自分だけじゃない人のために役に立ちたいとか、自分だけで生きているのではないというメッセージがあって、そういうところが素晴らしい、感動することが多いです。スピーチの中にあまり強くはでてこないですが、やはり日本で暮らして辛いこと、大変なことが多いけれども、それでも諦めないで頑張る、努力を続けるという皆さんの気持ちに心を動かされるのかなと感じています」とのコメントをいただき、盛況のうちに会を終了しました。



プラザだより



国際理解講座 中国・雲南省編



国際理解講座中国・雲南省編を1月18日にiichiko総合文化センター 映像小ホールで開催し、36名の方にご参加いただきました。本講座は講師にプラザが主催するFree Talk Class中国語の講師を務める県国際交流員の楊 佳（ヨウ・カ）さんを迎え、「春の詩が流れる大地～雲南への誘い」と題して出身地である雲南省を様々な角度から分かり易く、そして魅力溢れる語り口でお話いただきました。



講師はイ族の民族衣装で登壇し、自己紹介のあと3つのキーワード（常春の地、文化、少数民族）に沿って講座を進めました。穏やかな気候で人気の観光地である雲南省はベトナム、ラオス、ミャンマーと国境を接し、その影響は建築様式や少数民族の伝統的な服飾からも確認することができます。また豊かな自然の中で育まれた食文化や動植物の多様性は唯一無二の印象を与えました。一方で、インフラ整備や開発の遅れなど課題についても言及し、雲南省の今を知る機会になりました。



後半の中国語レッスンでは、4種類の声調（高低アクセント）や簡単な挨拶を講師の後に続いて全員で音読み、続く中国語と日本語の「似て非なる単語」では、いくつかの例（「手紙」は中国語で「トイレットペーパー」、「妻子」は「妻」のみを意味する等）を挙げて解説し、参加者はその違いに驚くばかりでした。

講座を通して知る雲南省は雄大でユニーク、そして何より雲南省を愛する講師の思いが詰まった大満足の講座になりました。



外国語図書無料配布



外国語図書の無料配布を2月14日、15日にプラザ研修室で実施しました。2日間とも午前中みの開催でしたが、約30名の方に計98冊の本（カードゲーム含む）をお持ち帰りいただきました。

今回はこれまでに寄贈された本も多く並べ、人気のあった英語の小説やカードゲーム以外にも語学テキストや英字新聞など様々なジャンルの本に関心を持っていただきました。

またアンケートにもご協力いただきました。皆様の貴重なご意見は今後の運営の参考にさせていただきます。



令和6年度

登録ボランティア研修(通訳・翻訳技法)



令和6年12月14日に「令和6年度 登録ボランティア研修(通訳・翻訳技法)」を実施しました。講師に通訳・翻訳を専門に学び、中国で活動していた県国際交流員の楊 佳(ヨウ・カ)さんを迎え、プラザに登録する中国語通訳・翻訳ボランティアを対象に開催しました。

講師は自己紹介のあと、「翻訳における心得」「通訳業務における流れとトレーニング」「質疑応答」の順に研修を進め、気をつけているポイントや依頼を受けてから振り返りまでの流れ、事前準備や普段の訓練方

法など実践練習も交えながら説明しました。

講座に参加された方からは、「わかりやすかった」「役立つ知識ばかりだった」などの感想が聞かれ、技術の向上に役立つ充実した時間になりました。

国際交流団体等活動活性化事業補助金の活用事例

おおいた国際交流プラザでは、県内の国際交流団体等が行う多様な文化・スポーツ交流事業や県民と在住外国人との交流支援事業などの取組に助成(補助金交付)しています。令和6年度の補助金活用事例として、NPO法人遊鳳国際文化交流協会(矢野麻里理事長)の取組を紹介します。

遊鳳国際文化交流協会は、法人設立10周年の記念事業として、1月1日から1月16日まで大分県立美術館において、日本と中国、韓国の絵画や工芸などの作品を展示する「日中韓交流展」を開催し、美術の素晴らしさを分かち合い、友好の理解と促進を深めました。また、1月5日には、禅寺を会場として日本の代表文化である茶道と尺八演奏を楽しむ「古音茶会」も開催しました。期間中は県内各地から約1,600人が来場し、参加者からは、「言葉は通じなくても、美しいものは伝わる」「水墨画と尺八と茶道、貴重な体験ができました」「心に染み渡る素敵なイベント、子供も楽しんでいました」「友好の架け橋にこれからも続けてほしい」などの声が聞かれました。



相談事例

① センター相談

Q 外国人です。海外のサイトから購入した商品が掲載されていた物とは違っていましたが、返金を依頼しましたが、返信がありません。



A インターネットでの海外の事業者との取引トラブルは「越境消費者センター(CCJ)」に相談してください。

URL:<https://www.ccj.kokusen.go.jp>

② センター相談

Q 外国人です。日本語教室に通っています。教室以外でも勉強できる場所を探しています。プラザの「交流スペース」は利用出来ますか？

A プラザが実施する講座(Free Talk Class、語学講座など)で使用していない時間は利用可能です。



③ センター相談

Q 外国人です。人種差別を受けています。どこに相談すれば良いですか？



A 法務省が外国人のための人権相談窓口や法務局における調査・救済手続を説明したリーフレット(10言語対応)を作成しています。

URL:<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken21.html>

④ センター相談

Q 日本人です。技術的分野で外国人の雇用を考えています。どこに相談すれば良いですか？

A 「外国人雇用サービスセンター」で相談できます。詳細は「外国人雇用のルールに関するパンフレット(19ページ)」で確認してください。



URL:<https://www.mhlw.go.jp/content/001261967.pdf>

専門家相談 タガログ語相談 中国語相談

※相談員の都合でお休みになることがあります。 ※詳細はHPでご確認ください。

▶ 専門家相談

■日時 毎週土曜日 13:00~16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 外国人Life Support所属行政書士ほか ■費用 無料 ■申込 不要

事前の予約は必要ありませんが、専門家により専門分野が異なることや通訳が必要な場合がありますので相談内容を予めセンターにお知らせください。

▶ タガログ語相談

■日時 毎月第1土曜日 13:00~16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 大分県フィリピン友好協会所属相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

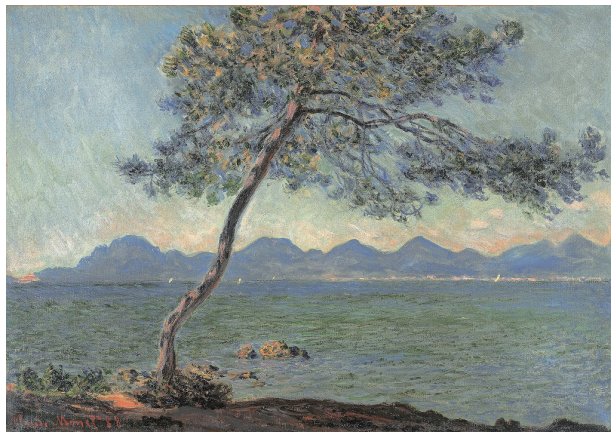
▶ 中国語相談

■日時 毎月第2土曜日 13:00~16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 おおいた国際交流プラザ 中国語相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

大分県立美術館(OPAM)のおすすめ展覧会を紹介します!

OPAM開館10周年記念 LINKS(リンクス) - 大分と、世界と。-

大分県立美術館は2025年4月に開館10周年を迎えます。このたび館のコンセプトである「出会いと五感のミュージアム」にちなみ、人と人、人と作品との「出会い」をテーマとした企画展を開催します。大分にはじまり、視点を日本さらには世界へと広げ、「出会い」が生んだいくつもの感性の「つながり」=“LINKS”をお楽しみください。



クロード・モネ《アンティープ岬》1888年 愛媛県美術館所蔵

開催期間 4月26日(土)～6月22日(日)

休 展 日 5月22日(木)

会 場 大分県立美術館 1階展示室A
および3階コレクション展示室

関連イベント

記念講演会



1 日本画の変
— 日展三山とその時代

講 師 野地耕一郎
(泉屋博古館東京館長)

日 時 5月17日(土)
14:00～15:30

場 所 大分県立美術館
2階研修室

定 員 80名



2 ピカソの《ゲルニカ》
— ルーツと生成

講 師 大高保二郎
(早稲田大学名誉教授)

日 時 6月14日(土)
14:00～15:30

場 所 大分県立美術館
2階研修室

定 員 80名

スライドトーク

OPAMコレクションの
楽しみ方

講 師 加藤康彦
(元大分県立美術館副館長)

日 時 5月31日(土)
14:00～15:30

場 所 大分県立美術館
2階研修室

定 員 80名

学芸員によるギャラリートーク — 参加費無料 申込不要 —

※日本画と洋画、それぞれ別日程で解説を行います。

【日本画編】

日 時 4月27日(土)、5月1日(木)、5月3日(土・祝)、5月5日(月・祝)、5月24日(土)
各日14:00～15:00

会 場 3階コレクション展示室

【洋画編】

日 時 4月29日(火・祝)、5月2日(金)、5月4日(日・祝)、5月6日(火・振休)、
6月7日(土) 各日14:00～15:00

会 場 1階展示室



HP



Instagram

※各イベントのスケジュール、内容は、都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。

Festivals and Events

県内イベント案内 ※掲載のイベントは、予告なく中止・変更になる場合があります。

大分県立美術館連携企画 Co.山田うん『オバケッタ』

日時/4月5日(土) 14:00~
会場/iichiko音の泉ホール
料金/全席指定)A席2,000円
U25割 半額
※4歳以上入場可
演出・振付・作詞/山田うん
美術/ザ・キャビンカンパニー



東京バレエ団 『眠れる森の美女』

日時/6月7日(土) 14:00~
会場/iichikoグランシアタ
料金/全席指定)
A席10,000円、B席8,000円、
C席6,000円、D席4,000円、
U25割 半額
※5歳以上入場可
指揮/井田勝大
演奏/九州交響楽団
主な出演者/オーロラ姫:秋山瑛、
デジレ王子:大塚卓



ザ・キャビンカンパニー大絵本美術展 〈童堂賛歌〉

開催期間/2月7日(金)~4月13日(日)
会場/大分県立美術館 1階 展示室A
観覧料/一般1,000(800)円
高校・大学生800(600)円
※中学生以下は無料
※()内は有料入場20名以上の団体料金
※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料



《童堂賛歌》メインビジュアル2024年

大分県芸術文化友の会
OITA PREF ARTS & CULTURE MEMBERSHIP
メンバー募集!



iichiko
総合文化センター
iichiko Culture Center



OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum



JICAデスク 大分からこんにちは!

国際協力機構 (JICA) では、国際協力・国際理解について知って頂くためのイベント、講演会、出前授業などを行っています。今回は、2月11日に開催された国際理解ワークショップ「SDGs 知って、感じて、考える ワークショップ「バレンタイン de 好きチョコレート」〜本当においしいチョコレートを選ぶための第一歩〜」をご紹介します。

このワークショップでは、カカオの生産地であるアフリカの



チョコレートの見た目を観察

ガーナの実生活の様子を、元JICA海外協力隊でガーナに派遣されていた西宮奈緒美さんに話していただきました。好きチョコレートでは参加者の皆さんに、市販のもの、フェアトレードのもの、ガーナで生産されたものの三種類の見た目、味、パッケージに書かれていることをじっくり観察し味わう時間を設けました。またカカオの生産地での児童労働の現状なども写真や動画で紹介しました。参加者のみなさんからは、「ただ消費するだけでなく、背景のことを考えるきっかけになりました」と、「自分

が普段食べるチョコレートが色んな社会問題につながっていることがわかった」などの感想をいただき、SDGs12の「使う責任、作る責任」への気づきへとつながったワークショップとなりました。



参加者のみなさんと感想の木

【JICA海外協力隊の2025年度春募集説明会開催のお知らせ】

JICA海外協力隊の2025年度春募集が始まります。募集期間は、3月21日(金)から5月9日(金)までです。募集年齢は20歳から69歳までで、日本国籍を持つ方が対象です。大分県での募集説明会は、4月20日(日)14:00から16:00まで、J:COMホール大分4階408会議室で開催します。当日は、事業概要説明、JICA海外協力隊経験者による体験談発表、経験者との座談会を行います。個別相談も承ります。



JICAデスク 大分

iichiko総合文化センター (B1F) おおいた国際交流プラザ内
担当: JICA九州・大分県国際協力推進員 渡邊
TEL: 097-533-4021 (おおいた国際交流プラザ直通)
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp

おおいた国際交流プラザからのお知らせ

●Free Talk Class

県国際交流員（CIR）が出身国の文化や日常生活について参加者に母国語で紹介し、楽しみながら言語に触れることを目的としています。

イギリス、韓国、中国出身のネイティブと交流してみませんか。（各週で1言語）

日時 金曜日 13:30～15:00

定員 各10名

●語学講座

新しい言語を習得したい方、学びながらその国の魅力に触れてみませんか。興味のある方はぜひご参加ください。

対象言語：インドネシア語、ベトナム語、イタリア語

定員 各10名

●通訳・翻訳ボランティア

おおいた国際交流プラザには、英語・中国語・韓国語・ドイツ語・イタリア語・フランス語・ロシア語・タガログ語・スペイン語・ベトナム語・インドネシア語・タイ語・アラビア語・ヒンドゥー語・ウルドゥー語・ミャンマー語・マレー語の通訳・翻訳ボランティアが登録しています。

語学力を活かして、在留外国人のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語を母語としない方に日本語を教えるボランティアです。

登録希望者は、おおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードしご記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。

●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます(5か国語)ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本で生活で知ってほしい情報を紹介しています。

●日本語教室情報

▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス（大分市）

日 時 毎週火・金 10:20～11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール（大分市）

日 時 毎週木 18:30～20:30

連絡先 090-7169-4466 加藤

▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館（大分市）

日 時 毎週月 10:15～12:00

連絡先 097-528-1865 川野

▶ひまわり

①場 所 明治明野公民館（大分市）

日 時 毎週水 14:00～15:30

②場 所 鶴崎公民館（大分市）

日 時 毎週土 10:00～11:30

③場 所 大分中央公民館（大分市） ※こども日本語教室

日 時 毎週土 14:00～15:30

連絡先 097-527-2614 深田

▶日本語らくらくトーク

場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00～15:30

連絡先 0977-21-1131 文化国際課

▶BIP Japanese Conversation Class

場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週日 10:00～12:00

初級から中級まで ※ボランティアによる講座

連絡先 0977-23-1119 神（こう）



県内には、このほかにも日本語教室が開設されています。詳しくはQRコードからご確認ください。

